

2026年5月期 第1四半期
決算説明資料

2025年10月7日

2026年5月期 第1四半期実績 前年同期比 減収減益

✓ 売上高は約26億円減収

アルミ地金市況に連動した売上の増加があったものの、国内外における市場低迷の影響を受けた販売量の減少などにより減収。

✓ 営業利益は約17億円減益

価格改定やコスト削減を進めたものの、販売量の減少や投資による償却費負担増、アルミ地金価格上昇などの影響を受け減益。

3ヵ月累計（2025年6月～2025年8月）

	2026/5期 1Q実績	2025/5期 1Q実績	前年同期比		(億円)
			増減額	%	
売上高	858	885	▲26	▲3.0%	
営業利益	▲11	5	▲17	—	
営業利益率	▲1.4%	0.6%	—	▲2.0p	
経常利益	▲12	5	▲17	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲6	0	▲7	—	

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

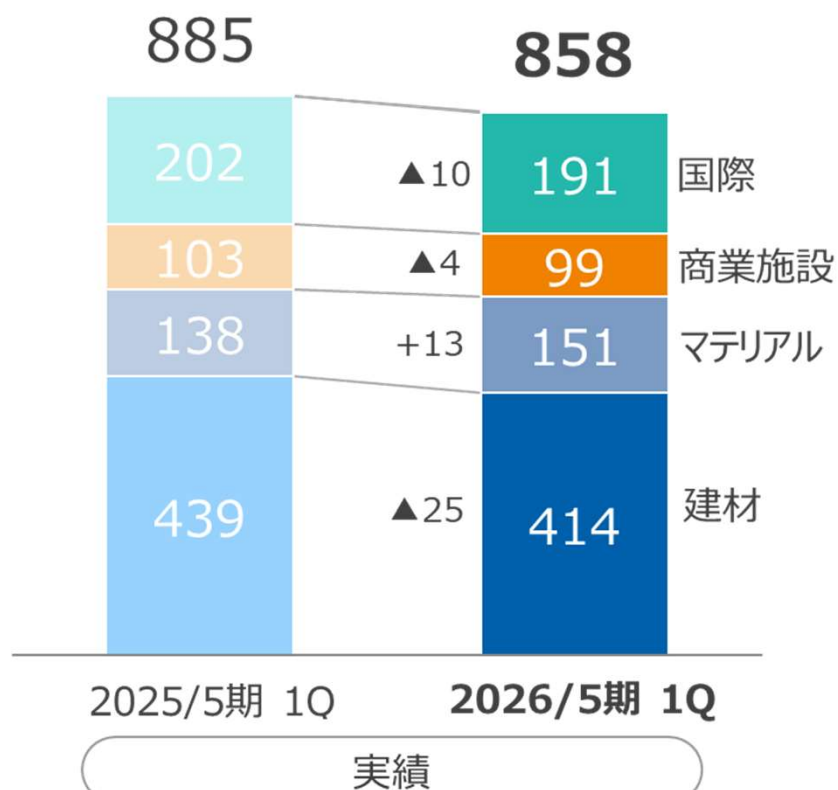
売上高

858 億円

前年同期比

▲ 26 億円

(▲ 3.0%)

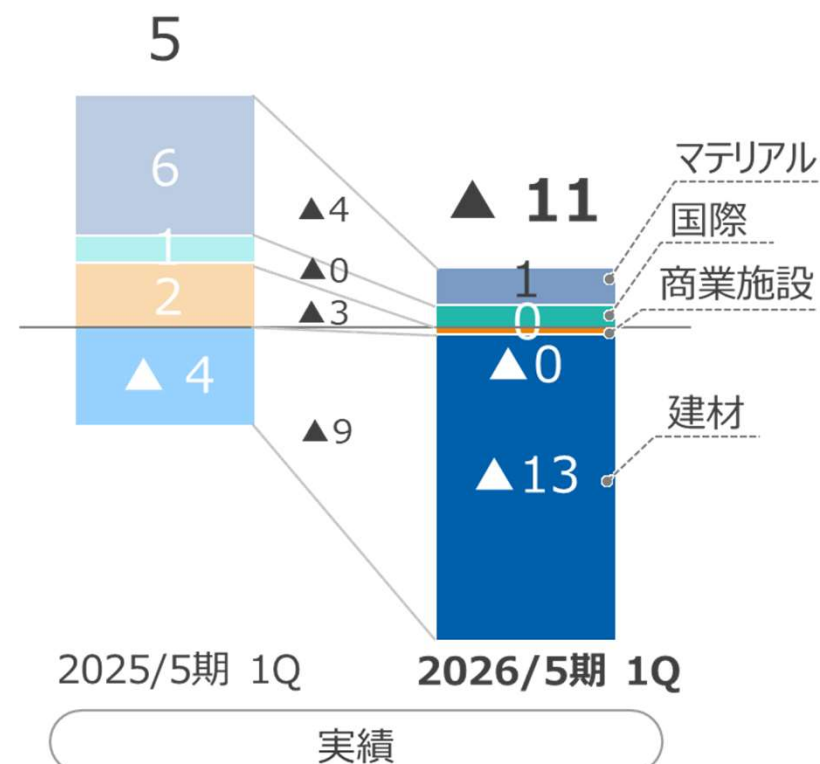


営業利益

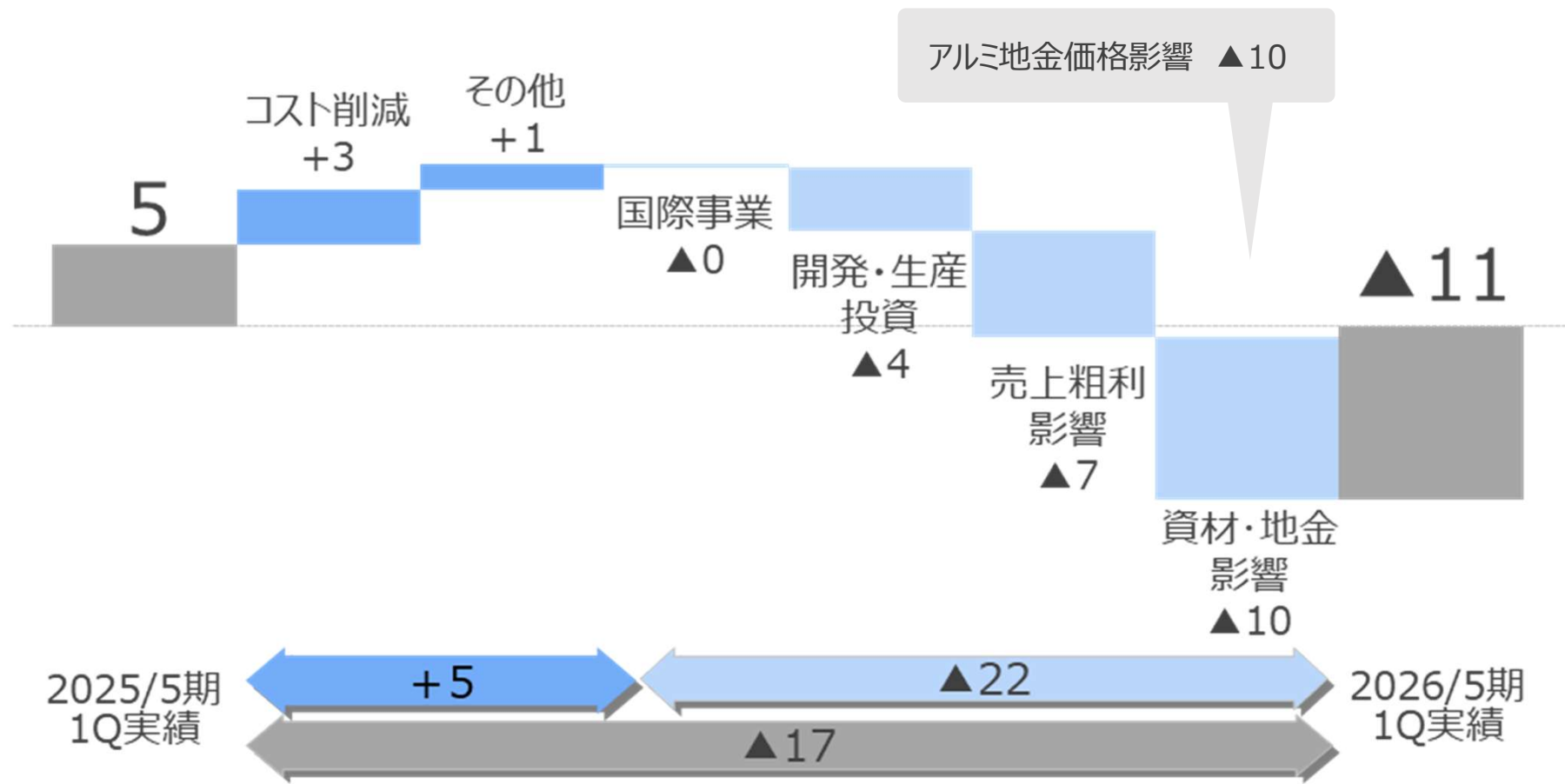
▲ 11 億円

前年同期比

▲ 17 億円



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示

「グリーンアルミ」の採用を強化

～太陽光発電とリサイクル材を活用した環境配慮型アルミビレットを導入～

カーボンニュートラルに向けた取り組みとして「グリーンアルミ※1」の採用を強化。

今回、新たに、伊藤忠商事株式会社を通じて、Emirates Global Aluminium（以下、EGA社）の太陽光発電による新地金※2とリサイクル材を組み合わせた世界初となるアルミビレット「CelestiAL-R（セレスティアル アール）」を採用する。

◆「CelestiAL-R」の詳細

- EGA社製
- 太陽光発電による新地金とリサイクル材を組み合わせた世界初となるアルミビレット
- 化石エネルギー由来の発電による新地金から製造されたアルミビレットと比較して、製造時のCO₂排出量を大幅に削減

※1. 非化石エネルギーを発電源とした製錬により生産されたアルミ地金「グリーンアルミ原材料」と、アルミスクラップを使用した「リサイクルアルミ原材料」の総称

※2. 天然資源から抽出したアルミの原材料



アルミビレットのイメージ

引用元：Emirates Global Aluminium PJSC

当社は「サステナビリティビジョン2050」の重要課題として、2030年度までにCO₂排出量をScope1+2で50%（2017年度比）、Scope3で25%（2022年度比）削減する目標を掲げ、原材料を含むサプライチェーン全体でのCO₂削減を通じ、サステナブルな暮らしの実現に取り組んでまいります。

●ニュースリリース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2025news/st20250821.html>

子どもの安全を守るレジリエンス性能

「第19回キッズデザイン賞」を受賞

(主催：キッズデザイン協議会、後援：経済産業省、内閣府、消費者庁、こども家庭庁)



【受賞部門】 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

【受賞作品】 子どもの安全を守るレジリエンス性能

高断熱スリム窓 エスティナ
STINA

猛烈な台風にも耐える

耐風圧性能
S-4
風速換算57m/s

激しい豪雨にも耐える

水密性能
W-5



PRONOVA2

建物内部への浸水抑制

浸水防止性能
Ws-3
等級相当

耐風圧性能
S-4
風速換算57m/s

◆作品概要

「子どもの安全を守るレジリエンス性能」を備えた三協アルミの住宅開口部商品は、安全・安心に暮らせる住まいづくりを実現。猛烈な台風にも耐える耐風圧性能、大雨による河川の氾濫や内水氾濫による浸水被害に備える仕様は、激甚化する自然災害から子どもたちを守る。また高い断熱性能は、災害時の在宅避難において暑さや寒さから身を守る。

- ニュースリリース（キッズデザイン賞） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2025news/sa20250820.html>
- ニュースリリース（STINA） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2025news/hk20250417.html>
- ニュースリリース（プロノバ2） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2025news/hk20250220.html>

2026年5月期 第1四半期（2025年6月～2025年8月）

商品リリース一覧

2025年7月



建材事業

防火ロールスクリーン「FIRECUT-RS（ファイアーカット アールエス）」 発売

国土交通大臣認定防火設備（個別認定品）取得



2025年8月

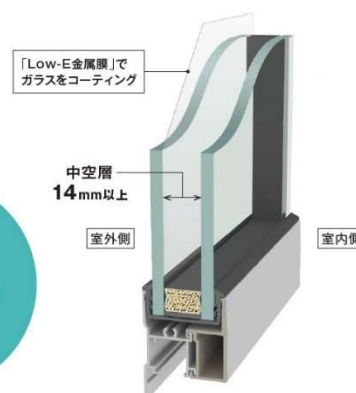


建材事業

ビル改修用アルミ樹脂複合サッシ「STINA-R（エスティナ アール）」 発売

Low-E 複層ガラスで
業界トップクラスの断熱性能を実現

断熱性能
H-6
(1.9W/m²・K)

● ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2025news/news2025.html>

2026年5月期 第1四半期（2025年6月～2025年8月） サステナビリティニュース一覧

2025年6月

- 換気しながら高断熱を実現する「DI窓※1」が2024年度「環境省LD-Tech」認証を取得

窓を開けずに「換気しながら高断熱」を実現

※1. 「DI窓（ダイナミックインシュレーション窓）」
<https://buildingsash.net/di/>



2025年7月

- 「イクボス宣言」を表明
- ESGインデックス「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

● サステナビリティニュース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/sustainability/news/2025news.html>

	対象期間	2023年	2024年	2025年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-6月	20.8万戸 (4.7%減)	20.9万戸 (0.5%増)	15.5万戸 (25.6%減)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-6月	5.8万戸 (11.8%減)	5.4万戸 (6.0%減)	4.2万戸 (23.4%減)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-6月	8.7万戸 (2.0%増)	9.0万戸 (2.9%増)	6.8万戸 (24.3%減)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-6月	16.7百万㎡ (13.5%減)	16.2百万㎡ (3.2%減)	14.3百万㎡ (11.2%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-8月	8.8万 t (14.6%増)	8.8万 t (0.6%減)	8.1万 t (7.6%減)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-6月	1,408棟 (12.7%減)	1,382棟 (1.8%減)	1,712棟 (23.9%増)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-6月	107.8万台 (26.7%増)	105.2万台 (2.4%減)	109.0万台 (3.5%増)
タイ自動車生産台数	4月-6月	41.4万台 (6.1%増)	34.7万台 (16.1%減)	37.4万台 (7.6%増)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-8月	379.3円/kg	451.7円/kg	455.2円/kg

日本アルミニウム協会公表値の集計区分に変更あり。
前年と同条件では前年同期比で約2.8%増と推定。

() は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'25/5期	'26/5期	増減	'25/5期	'26/5期	増減
1Q	439	414	▲25			
2Q						
3Q						
4Q						
				'26/5期 通期計画		
				1,815		

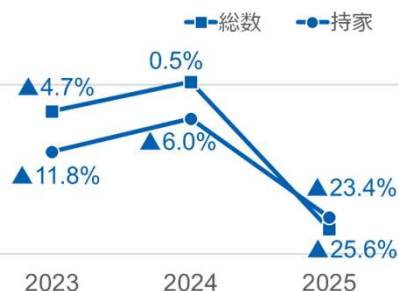
売上高については、「住宅省エネ2025キャンペーン」による一定のリフォーム需要が見られたものの、建築基準法改正による駆け込み需要の反動などにより新設住宅着工戸数が減少したことで、減収となりました。
利益については、販売量の減少やアルミ地金価格の上昇影響を収益改善施策で吸収できず、減益となりました。

セグメント利益

	3ヵ月実績			実績累計		
	'25/5期	'26/5期	増減	'25/5期	'26/5期	増減
1Q	▲4	▲13	▲9			
2Q						
3Q						
4Q						
				'26/5期 通期計画		
				22		

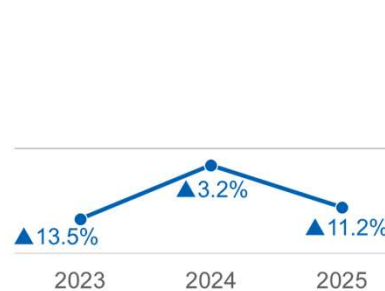
事業環境

新設住宅着工戸数
(前年同期比)



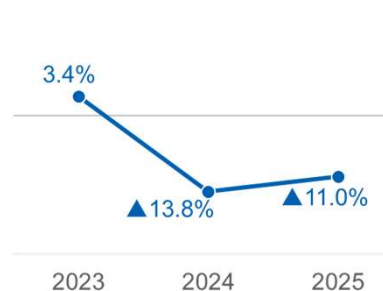
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積
(前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均]

※4~6月
累計



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'25/5期	'26/5期	増減		'25/5期	'26/5期	増減	
1Q	138	151	+13	+9.4%				
2Q								
3Q								
4Q								
'26/5期 通期計画						695		

売上高については、低調な建材分野における販売量の減少がありましたが、アルミ地金価格の上昇などにより、増収となりました。
利益については、生産重量の減少に伴う操業度の低下などにより、減益となりました。

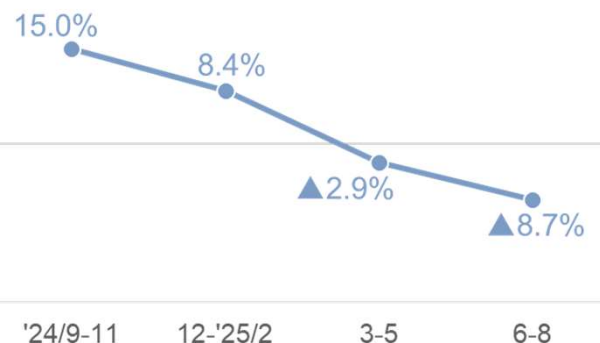
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'25/5期	'26/5期	増減		'25/5期	'26/5期	増減	
1Q	6	1	▲4	▲73.3%				
2Q								
3Q								
4Q								
'26/5期 通期計画						22		

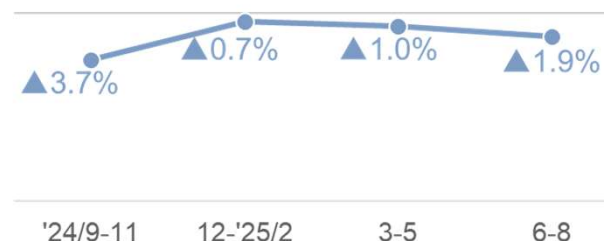
事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）

<一般機械>



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'25/5期	'26/5期	増減		'25/5期	'26/5期	増減	
1Q	103	99	▲4	▲4.1%				
2Q								
3Q								
4Q								
'26/5期 通期計画					435			

売上高については、デジタル化の加速や多様化する消費者ニーズへの対応を背景に、積極的な投資を行っている小売業態の新規出店や店舗の改装需要を取り込みましたが、減収となりました。
利益については、価格改定をはじめとする利益改善を進めておりますが、継続的な物流コストの上昇などにより、減益となりました。

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'25/5期	'26/5期	増減		'25/5期	'26/5期	増減	
1Q	2	▲0	▲3	-				
2Q								
3Q								
4Q								
'26/5期 通期計画					11			

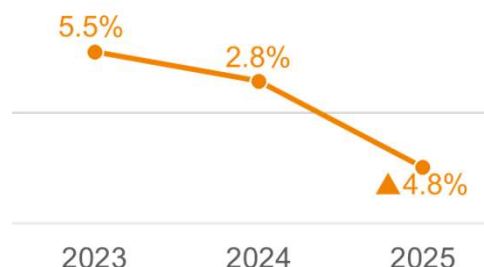
事業環境

建築着工棟数[店舗]（前年同期比）



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額（前年同期比）



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4～6月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'25/5期	'26/5期	増減	'25/5期	'26/5期	増減
1Q	202	191	▲10			
2Q						
3Q						
4Q						
	'26/5期 通期計画			750		

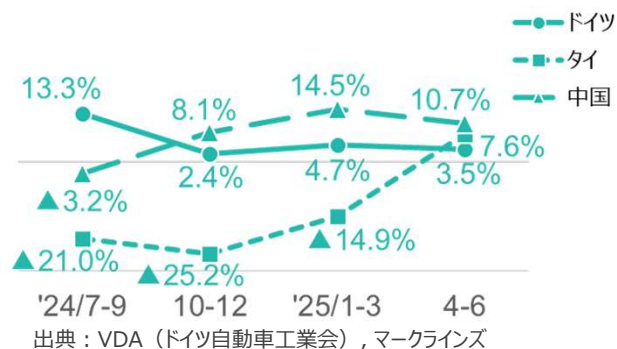
タイやドイツにおける先行き不透明な経済状況の中、タイ子会社では電子機器や自動車分野の販売量が増加しましたが、建材分野では減少となり、欧州子会社では自動車分野や卸売向けの販売量が減少しました。その結果、減収減益となりました。

セグメント利益

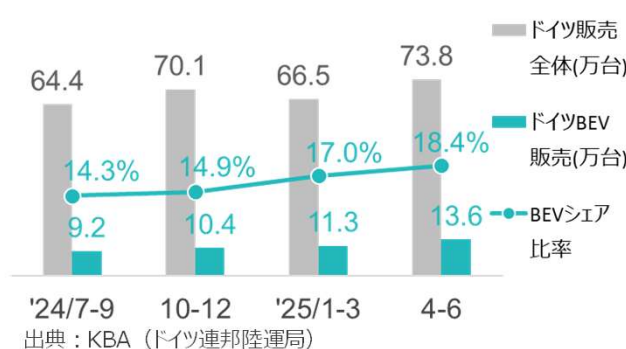
	3ヵ月実績			実績累計		
	'25/5期	'26/5期	増減	'25/5期	'26/5期	増減
1Q	1	0	▲0			
2Q						
3Q						
4Q						
	'26/5期 通期計画			▲14		

事業環境

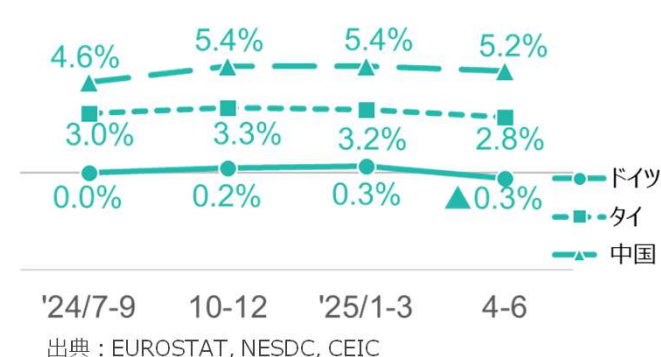
自動車生産台数（前年同期比）



ドイツ自動車販売台数およびEV販売台数・シェア



GDP（国内総生産）（前年同期比）



計画前提・実績

		期中 平均値	2025/5期 1Q実績	2026/5期 前提 (通期)	2026/5期 1Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～8月	451.7円/kg	455.0円/kg	455.2円/kg
為替	ドル	4～6月	155.9円	145.0円	144.6円
	ユーロ	4～6月	167.8円	160.0円	163.8円
	バーツ	4～6月	4.3円	4.0円	4.4円
	元	4～6月	21.5円	21.0円	20.0円

サステナビリティビジョン2050

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創生し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

2030年度目標

温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減** (2017年度比)

Scope3 **25%減** (2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け
アルミリサイクル率 **80%**

課題の対応により100%を目指す

女性管理職比率

10%

Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出

Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出

Scope3：自社の事業活動の上流及び下流のプロセスでの排出

*1：個別製品ごとの指標を表すものではありません

*2：対象とする拠点は、国内製造拠点

*3：社内の製造工程で生じた端材を含みます

■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、国内外の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。